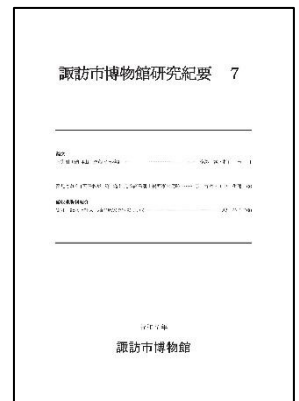


『諏訪市博物館研究紀要7』が刊行されました

諏訪市博物館では、研究者・友の会員・館学芸員が寄稿した『諏訪市博物館研究紀要7』（A4判・128頁）を作成・刊行しました。館受付で販売しています。

- 1 名称 『諏訪市博物館研究紀要7』
- 2 体裁 A4判 128頁
- 3 販売価格 1,200円（税込）
- 4 発行部数 300部
- 5 内容 当館研究紀要は、『諏訪市博物館研究紀要6』（平成26年発行）以来の11年ぶりの発行となります。今回は、下記の三稿を掲載しました。



① 論文「^{もとみさやま}旧御射山遺跡出土遺物の再検討」

執筆：滝澤 誠（公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団）・村山 卓（同）

概要：旧御射山遺跡は霧ヶ峰八島ヶ原湿原にある中世の祭祀遺跡である。その発掘遺物（当館所蔵）は、かつて金井典美によって報告されたが、膨大な量ゆえに一部に過ぎなかった。そこで未報告分も含めて改めて遺物を図化してまとめ、資料や遺跡の再検討をした。

② 論文「発見された『^{はんがししゅう}藩譜私集』第七巻に見る高島藩士鶴飼家の足跡」

執筆：原 寿樹（諏訪市博物館友の会会員）・田中生浦（同）

概要：各高島藩士の系図や役職・働きが詳細に記された『藩譜私集』（『諏訪史料叢書』所収・全23巻）で欠落していた第七巻の手書き原稿が、近年当館の収蔵資料から発見された。友の会古文書学習会員の原氏・田中氏がこれを解読し翻刻を作成した。本論文ではその翻刻と、これにより初めて明らかになった鶴飼家の家柄についてまとめた。

③ 館収蔵資料紹介「寄託・諏訪上社大工棟梁原家資料について」

執筆：三嶋 祥子（諏訪市博物館学芸員）

概要：平成28年に末裔家から寄託された当資料群には、諏訪郡内から県内外各地の神社仏閣の建築図面が多数収められている。この中から主な図面資料をいくつか紹介した。

郷土史や考古学を調べたい・学びたいお客様、
すわ大昔情報センターをご利用ください。



〒392-0015 長野県諏訪市中洲171-2
諏訪市博物館
（教育委員会事務局生涯学習課博物館）
館長 土田 担当 三嶋
電話 0266-52-7080
FAX 0266-52-6990
メール suwamu@city.suwa.lg.jp



博物館 HP